

・研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
中村正和	第1部 特定健康診査・特定保健指導における禁煙支援の意義と方法	大井田隆, 中村正和, 尾崎哲則(編集)	特定健康診査・特定保健指導における禁煙支援から始めるたばこ対策	一般財団法人日本公衆衛生協会	東京	2013	103-123
中村正和	第4章 健康教育 第3節 禁煙支援	中央労働災害防止協会(編)	産業保健・産業栄養指導専門研修	中央労働災害防止協会	東京	2013	157-170
大和 浩	タバコ関連疾患	矢崎義雄(総編集)	内科学第10版	朝倉書店	東京	2013	2352-2354
大和 浩	タバコの科学	尾崎哲則, 埴岡隆(編著)	歯科衛生士のための禁煙支援ガイドブック	医歯薬出版	東京	2013	2-3
大和 浩	職域と家庭環境の喫煙状況と禁煙支援						88-91
大和 浩	職場の喫煙対策、快適な職場環境の形成	和田攻(監修) 森晃爾(総編集)	産業保健マニュアル	南山堂	東京	2013	136-137
大和 浩	禁煙・たばこ依存・受動喫煙	小木和孝(編集代表)	産業安全保健ハンドブック	公益財団法人労働科学研究所	東京	2013	810-813

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
伊藤ゆり, 中村正和	たばこ税・価格の引き上げによるたばこ販売実績への影響	日本公衆衛生雑誌	60(9)	613-618	2013
中村正和	脂質異常症における禁煙療法	日本臨床	71(増刊号3)	516-521	2013
中村正和	解説 健康日本21(第二次)「喫煙」	健康づくり	430	11	2014
Maki Komiyama, Hiromichi Wada, Shuichi Ura, Hajime Yamakage, Noriko Satoh-Asahara, Akira Shimatsu, Hiroshi Koyama, Koichi Kono, Yuko Takahashi, Koji Hasegawa	Analysis of factors that determine weight gain during smoking cessation therapy	PLoS One	8	e72010	2013
大和 浩	受動喫煙による障害と受動喫煙防止法・条例による効果	日本臨床	71(3)	464-468	2013
大和 浩	受動喫煙防止対策と禁煙支援	公衆衛生情報	42(11-1)	21-26	2013

大和 浩	わが国の受動喫煙対策に関する法改正の動きとその課題	循環器専門医	21(2)	350-355	2013
大和 浩	タバコ煙のPM2.5としての有害性とその安全対策	呼吸	32(11)	1028-1035	2013
大和 浩	特集 喫煙対策はどうなるのか 世界各国とわが国の喫煙対策,現状と今後の方向性	健康開発	18(2)	14-23	2013
大和 浩	職場の受動喫煙防止対策にかかわる労働安全衛生法の改正の動きと職場での喫煙対策の取り組み	労働衛生工学	52	31-36	2013
Yamato, H. et al.	Designated Smoking Areas in Streets Where Outdoor Smoking is Banned	Kobe Journal of Medical Sciences	59(3)	93-105	2013
大和 浩	職場における喫煙・受動喫煙対策	保健の科学	55(9)	623-628	2013
大和 浩	産業医学と喫煙対策	産業医科大学雑誌特集号「産業医と労働安全衛生法四十年」	35	133-140	2013
大和 浩	職域の喫煙対策の現状と未来	産業医学レビュー	25(4)	219-238	2013
大和 浩, 太田雅規, 中村正和	某ファミリーレストラングループにおける客席禁煙化前後の営業収入の相対変化 - 未改装店、分煙店の相対変化との比較	日本公衆衛生雑誌,	61(3)	130-135	2014
田中謙	『非喫煙者の権利』は、『喫煙の自由』の内在的制約を顕在化させたものである	関西大学法学論集	63巻6号	103-129	2014
Tabuchi T, Hoshino T, Hama H, Nakata-Yamada K, Ito Y, Ioka A, et al.	Complete Workplace Indoor Smoking Ban and Smoking Behavior among Male Workers and Female Nonsmoking Workers' Husbands: A Pseudo Cohort Study of Japanese Public Workers	BioMed Res Int			2014